



綾ユネスコエコパークまちづくりネットワーク協議会紹介

綾・農業寺子屋

(押田明校長 13人)

綾・農業寺子屋は、子どもたちに命の大切さを学んでほしいという思いで、地元農家や元教員などがスタッフとして参加し設立しました。活動は今年で10年目を迎え、これまでに136人の子どもが卒業しています。

普段の活動としては、錦原台地にある畑で月に2回、子どもたちが野菜の種まきから除草・間引きなどの手入れ、収穫までの作業をしています。また、田んぼでの泥んこ遊びやカナディアンカナヌー体験など豊かな自然を生かしたさまざまな体験も行っています。

私たちの活動には保護者や地域の皆さんの理解が欠かせません。皆さんのご協力のおかげで活動を継続できていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。最近では、子どもと一緒に活動に参加する保護者の姿もたくさん見られるようになり、ともに農業寺子屋の活動を創っているという雰囲気が生まれ、とても心強く感じています。

これからも学校や家庭だけでは体験できない、地元の自然に触れてこそ学べることを子どもたちにたくさん吸収してほしいと思っています。



親子一緒に楽しむ姿が増えました



農作業にいきそい子どもたち

卒業生の中には、寺子屋での経験をきっかけに農業高校に進学し、農家を志している生徒もいます。子どもたちの成長を見られることは、大きなやりがいのひとつになっています。子どもたちが将来、地元を誇りに思い、地元に戻ってきたいと思ってくれるよう活動をさらに充実させていきます。皆さんのご支援をよろしくお願いいたします。

綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp>

※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館
休館などの情報はホームページで随時更新します

Column

サツマニシキ

ガの仲間では最も美しいとされる本種。ヤマモガシという照葉樹林に生える樹種を食草としています。ガの仲間としては珍しく、比較的明るい昼間の時間に飛び回っている様子を夏から秋にかけて確認することができます。翅をたたんだシルエットは矢印のような形をしています。

敵に襲われると、胸から黄色い泡のような毒液を出して身を守るサツマニシキ。全身がきれいな色をしている理由は、鳥などの天敵に毒を持っていることをアピールするためなのかもしれませんね。

